

令和4年度 自己評価結果公表シート

あかし幼稚園

1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none">・ 4大イベントは日々内容を全員で確認し、行事当日から逆算して日々を積み重ね、子どもの様子に合わせて進められた。また、その取り組み期間もちょうど良い。・ 週に1回全職員で全園児の様子を話し合う事で、保育の反省が出来、他クラスの子どもの事も共有でき、アドバイスし合える時間帯となっている。・ あかしのカリキュラムはそこまで細かくないが、実際の子どもの生活を第一に考えているので良い事である。
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもの話をよく聞き、ありのままの姿を受け入れるよう努め、それを全職員と共有した。・ 保育者同士がよく話しており、いろんな出来事を共有・共感している。・ ケンカやケガも全ての先生が見守り、互いに報告している。・ 2階も2人体制であったことで安心して保育が出来た。
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none">・ 落ち着いた情緒、清潔な身なりで、皆責任感を持って仕事に取り組んでいる。・ 誰にでも温かく対応している。
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none">・ 出来るだけ子どもの様子を伝えたり家庭での悩みも聞くように心がけている。・ 保護者には公平に接するよう努め、要望にも柔軟に対応した。・ お休みの子どものことも心に留め、フォローした。・ クレーム対応はその日のうちを心がけた。・ 苦言をうやむやにせず、真摯に受け止めた。・ 守秘義務を徹底し、保護者から言われた事は全職員で共有している。
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none">・ 近隣の方々との挨拶は欠かさないように心がけている。・ 実習生は可能な限り受け入れ、様々な養成校の先生方との情報交換に努めている。・ 卒園生が気軽に足を運べる環境である。・ 秋の果物配りでは、お世話になっているの方々へ家庭から持ち寄った果物持参で感謝の気持ちを伝えられた。・ 芋の苗植え、芋ほりで地域の方々と交流した。・ 保幼小連絡会への出席。・ 兄弟児の預かり受け入れ。
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもの育ち、要支援の子への関りについては毎日のように話合った。・ 職員同士が良く理解し合い、助け合っている。・ 長期休暇中の園内研修や、キリスト教保育連盟・幼稚園連盟の研修参加で専門性を高めた。・ 毎月のピアノレッスン参加。

7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放への参加者や来園者には優しく声をかけ、挨拶するように努めた。 ・電話での問い合わせに丁寧に対応している。
----------------	--

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【2022年度 教育目標】

- ・一人ひとりの命、存在を貴重なものと心に留め、ありのままの子どもを受け入れ心の安定に努める。
- ・家庭との対話を通して子の育ちを共有し、より良い成長の為、共に子どもを育てていく。
- ・目に見えない育ちに価値を置き、目に見えない事を大切にする保育を行える教職員の育成を図る。

【総合的な評価】

- ・日々子どもの様子を話し合い、みんなで問題点や改善策を共有しながら、安定した保育を行うことが出来た。長期の保育計画を立て、それを月→週→1日の生活へと細かく考えていくことで、無理なく子ども達を導くことが出来たように感じる。また、子ども理解も深まり、クラスの枠を超えてアドバイスしたり、援助したり・・が、自然な形で進められた。
- ・保護者対応は、皆様に満足して頂けているようで安心している。今後も子どもの様子をお伝えしつつ、御家庭の心配事にも寄り添って、一緒に子ども達を育てていきたい。また、少しでも保護者の横の繋がりが持てる事も提案できたらと考えている。
- ・見学者に対して、又園庭開放時は、職員みんなが笑顔で温かく迎えるように心がけた。昨年同様、コロナ禍で地域の中に開かれた園として何かを行う事が難しかった。次年度も未就園児へのホームページでの発信にも力を入れ、外部との交流の機会を設ける努力をしたい。
- ・積極的に職員が外部の研修に参加するように促すと共に、園内研修の一層の充実を図り身に付けたものを保育に反映できるよう、各自が専門知識・技術向上に努める。

3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"> 週に1回行っている会議内容を子ども理解に向けて更に充実させる。 カリキュラムを意識して日々の保育に役立てる。
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> 1日の生活の時間管理をきちんと行う。 生活面における子どもへの適切な声掛けを行う。 補助職員と意識して情報共有に努める。
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> 小さなケガでも必ず周りの職員に伝える。 やるべき事を忘れないように気を付ける。 自分の保育のスタイルを固めず、他の職員のやり方からも学ぶ。
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> 「苦情がある場合は遠慮なく職員へ」と保護者へ周知する。 衣服の混乱、紛失を防ぐ。 不要なデータを消して書類を整理する。 クラスだよりには子どもの課題点も載せていく。
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"> 卒園後の子どものことが心配。 迎えの車の長時間駐停車、反対車線への駐車。
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> もう少し積極的に研修に出かける。 危機管理意識を高める。
7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 物質面での環境を整える。(乳児向けおもちゃ、遊び場所) 園の様子や園庭開放について、未就園児向けにホームページで知らせる。 外部にも案内しながらの公開講座等が開けたら。

4、学校関係者の評価

- 園に対しての満足度は高く、我が子へは低め（厳しい）。それだけお母さんは自分に厳しいのだと思う。“あなたが育てているのだから、きっと子どもは大丈夫”と言ってあげたい。（自信をもって子育てしてほしい）
- 保育はこれまで通りよい保育が行われているので、防犯面だけは気を付けてほしい。あかしの先生は全ての保護者の顔を覚えているのが1番の防犯。
- 卒園してもいつまでも繋がっていられるところ、仲良しでいられるところがあかしの良さ。
- あかしの特色はハッキリ打ち出してよい。在園保護者へはもちろんのこと、未就園で検討している方々へもホームページで広く知らせたらよい。

*2022年度学校評価委員（4名 敬称略）

佐々木英治（あかし幼稚園理事）

水田友香（あかし幼稚園理事）

畑中真生（元あかし幼稚園母の会会長）

中島まり恵（元あかし幼稚園役員）